

## 道楽は古書店探訪

中学生の頃は学校の図書室に入りびたり、手当たり次第にその蔵書を濫読したり、小遣いの大半を近くの貸本屋で借りる探偵小説に費やした。20代の頃からは地元の古書店探訪を始め、読書傾向もほぼ定まってきた。

30代の東京在勤時には、子育てを妻に任せきりにして、暇さえあれば御茶ノ水駅から駿河台下・神保町・九段下駅にかけてほぼ1日を費やし、古書店街探訪を道楽としていた。薄給のサラリーマンには高価な本は買えず、店頭均一本専科であった。

40代以降、辞令1枚での全国転勤族になってからは、身近に古書店もなかなか見当たらず、古書店探訪は途絶えがちにならざるを得なかった。

60歳の定年退職により、連続10年間に及ぶ単身赴任生活からようやく解放され、名古屋の地に落ち着き、古書店探訪の道楽が再開できたが、ここ10数年間に多くの古書店が店を畳んで、シッター通りになっていくのが、何とんでも寂しい。営業中の店に入っても店内は閑散としていて、本を購入する人はおろか、選書している人さえ少なく、これで営業は成り立つのか、他人事ながら心配になるくらいである。

ただ、毎月開催される名古屋古書会館での即売会に行くと、いつも大勢の古書ファンで賑わっているの、潜在的需要はまだまだ廃れてはいないようだ。何とかこれ以上、私の道楽をつぶさぬよう、店の廃業がないことを願うばかりだ。

今春から10年ぶりに鯉城学園再入学を認められ、学園図書室の利用を再開できたことは、私にとって近年にない慶事である。これからもせいぜい読書三昧で過ごそうと思う。

(32期地域A 水谷 肇)

※ 本や図書館にまつわる投稿を700字程度でお待ちしております。  
詳しくは事務室の図書係までお問い合わせください。

よく読まれている本 ・騎士団長殺し…村上春樹 ・恋のゴンドラ…東野圭吾 ・コンビニ人間…村田紗耶香 ・幻庵…百田尚樹 ・十二人の死にたい子どもたち…沖方丁 ・白い衝動…呉勝浩 ・九十歳、何がめでたい…佐藤愛子 ・天才…石原慎太郎 ・陸王…池井戸潤 ・危険なビーナス…東野圭吾 ・わかれ…瀬戸内寂聴 ・沈黙法廷…佐々木譲 ・よるのばけもの…住野よる ・蜜蜂と遠雷…恩田陸 ・奇跡の爪音…谷口和己 ・秋霜…葉室麟 ・山猫珈琲…湊かなえ ・闇の平蔵…逢坂剛 ・老乱…久坂部羊 ・大阪のおばちゃんの逆襲…源祥子 ・また、桜の下で…須賀しのぶ ・不時着する流星たち…小川洋子 ・土の記…高村薫 ・銀の猫…朝井まかて ・終わった人…内館牧子 ・コンテキスト・オブ・ザ・デッド…羽田圭介 ・失踪者…下村敦史 ・料理通異聞…松井今朝子

※ 4月～6月の図書室利用状況

	入室者数	貸出数
1年	540	408
2年	356	330
OB	778	805
合計	1,674人	1,543冊